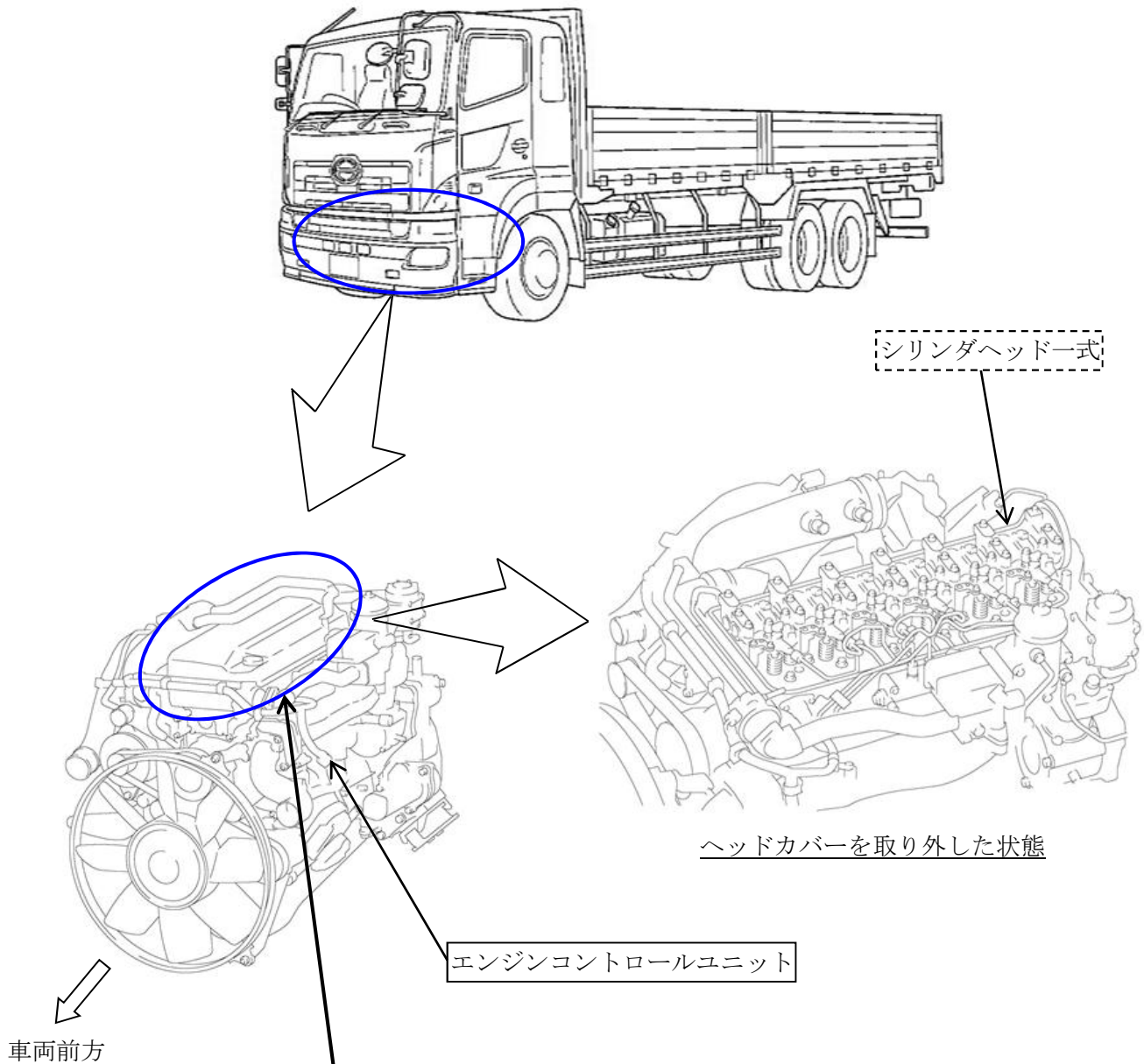


改善箇所説明図



基準不適合発生箇所

注： 内は制御プログラムを書き換える部品を示す。
 内は必要に応じて交換する部品を示す。

大型トラックにおいて、エンジン制御プログラムが不適切なため、DPR（排出ガス浄化装置）の手动再生を頻繁に中断した場合、ポスト噴射による燃料がEGRクーラに廻り込み、カーボンデポジットが生成されて吸気バルブに付着し、そのままの状態では長時間駐車するとカーボンデポジットの粘度が増加することがある。そのため、吸気バルブが摺動不良となり、最悪の場合、バルブが折損し、異音が発生するとともにエンジンが破損するおそれがある。

改善の内容

全車両、エンジン制御プログラムを書き換える。また、書き換え作業後の点検で吸気バルブから異音が出ている場合は、シリンダヘッド一式を交換する。

識別：改善済車両にはネームプレートに白色ペイントを塗布する。

